

第 29 回宗教文化士認定試験 記述式試験問題

問 宗教や宗教文化について書かれているインターネットやSNS上の意見には、きわめて不適切あるいは間違ったものがあります。次のA～Eはそうした意見の例です。このうちから2つを選んで、どのような点が間違っていたり不適切だったりするのか、またどのように記述したら適切になるかについて、全体で 800 字以上 1,000 字程度で述べなさい。

各解答文の最初に、必ず選んだ意見の記号を書いて下さい。また2つの解答の字数の割合には多少偏りがあってもかまいません。記述に際して、一般的、抽象的な内容に終始するのではなく、必ず具体的事例をあげること。

*下書きに WORD など文書作成ソフトを用いて、字数のカウントや一時保存に用いてもかまいません。

事柄

A 「お坊さんだからといっていつも精進料理を食べているわけではないですし、日本で生活していると宗教的な戒律は、あっても守らなくて良いもののように思います。他の国でも他の宗教でも、皆同じ様なものではないでしょうか。」

B 「日本では土葬は法律で禁じられており、土葬できる墓地はありません。日本生まれの人で土葬したいと思う人はいないので、土葬を希望する人は皆母国に帰って葬られるべきではないでしょうか。」

C 「日本ではキリスト教徒はとても少ないですが、それはキリスト教徒は皆、厳格に禁酒・禁煙をまもって、女性が聖職者になることを認めないような宗教だからではないでしょうか。」

D 「日本ではイエスやブッダなど宗教的な存在をマンガに登場させたりしています。宗教に関わる存在や関連する事物をポップカルチャーに登場させることは、その宗教の宣伝になるので、信者達は皆、歓迎しています。」

E 「日本では、公立の学校において特定の信仰の立場からの宗教教育を禁じていますが、これは日本だけではなく、世界的にも常にあてはまることです。」